

昭和大学Ⅱ期		2008	2009	2010	2011	2012	2013	予想
物質の構成	物質の構成	1 純物質, 混合物, 分離操作						
		2 単体, 化合物, 同素体						
	原子の構造	3 周期表						
		4 原子の構造, 電子配置						
		5 同位体, 質量数						
		6 イオン化Eと電子親和力						
		7 原子の結合と結晶の性質						
	化学量と反応式	8 溶液の濃度	○1濃度調整					○1
		9 化学反応式と量的関係		○2,6モル計算	○6	○1,2,6	○1~6	△
		10 化学の基本法則, 化学史						
物質の変化	化学反応と熱	11 熱化学方程式とヘスの法則					○1	
		12 水素イオン濃度とpH			○1酸の強弱	○1		
	酸と塩基	13 塩の分類						
		14 中和滴定の計算と指示薬			○5			
		15 中和滴定の実験操作			○5器具			
	酸化と還元	16 酸化・還元の定義						
		17 酸化数						
		18 酸化剤・還元剤						
		19 酸化還元反応式						
		20 酸化還元滴定						
	金属のイオン化傾向と電池	21 電池の原理, イオン化傾向		○1イオン化傾向				
		22 ダニエル, マンガン乾電池						
		23 鉛蓄電池						
		24 燃料電池, その他の電池						
	電気分解	25 ファラデーの法則					○1	
		26 水溶液の電気分解						
	無機物質	典型元素とその化合物	27 12~16族元素とその化合物	○2S			○5N	△
			28 17族元素とその化合物			○4	○4	
			29 典型金属と化合物の性質				○4Ca	
			30 非金属元素と化合物の性質					
遷移元素とその化合物		31 遷移元素の性質						
		32 遷移元素を含む化合物						
		33 錯イオン, 錯体		○5			○5	
		34 金属元素の性質		○1,5,7			○5両性	
イオンの反応		35 イオンの反応						
		36 陽イオンの分離, 確認			○4炎色反応			
単体, 化合物		37 気体の製法と性質						
		38 無機化学工業	○2硫酸の製法				○5硝酸	
有機化合物		有機化学の基礎	39 元素分析, 分子式の決定		○3	○3		
			40 構造式の決定			○3		
	41 異性体		○4	○3	○3	○2	△	
	脂肪族化合物	42 官能基の性質と反応	○5エーテル	○2命名法				
		43 炭化水素の構造, 反応様式					○2	
		44 アルコールとエーテル	○5酸化		○3	○3	○2	△
		45 アルデヒドとケトン	○5アセトンの製法				○2	△
46 カルボン酸, 酸無水物								
47 油脂, セッケン, 合成洗剤				◎6油脂				
				○6日本人化学者				